地域公共交通確保対策協議会

地域の公共交通のあり方を検討する「地域公共交通確保対策協議会」の初会議が、1月24日に開催されました。この協議会は、町内の公区長や福祉・障害者団体の代表、帯広運輸支局など21人で構成されています。

第1回の協議会では、先進地の視察をはじめとする今後の事業計画などについて論議が行われました。平成24年度は、コミュニティバスの試験運行の実施を、平成25年度は、本格運行の結論に至った場合、運行車両の導入や運行計画の策定などを予定しています。

現在計画されている事業(案)の詳細としては、試験運行が今年の7月と11月の計2回、本町、札内の両地区で行います。夏冬とも1カ月間ずつ行い、JR駅を起終点にそれぞれの市街地を循環します。

■試験運行の内容

幕別線は、JR幕別駅を起終点に旭町、緑町、寿町、南町など31カ所の停留所を設けて循環します。路線延長は約10キロ、所要時間は30分です。札内線は、JR札内駅を起終点に、豊町、桜町、暁町、春日町など国道38号線北側方面と泉町、文京町、北栄町、若草町など国道南側方面に分かれ、63カ所の停留所を設けて循環します。路線延長は29キロ、所要時間は70分です。

両路線とも午前7時50分を始発に、2時間間隔で1日5便を運行します。使用する車両や乗車料金は今後、協議会で論議します。試験運行にかかる経費や交通状況、利用者ニーズの実態を把握する各種調査、本運行する場合に必要な計画策定などで、約870万円の事業費を見込んでいます。

幕別町コミュニティバス

町では、自家用車を持たない方や高齢者などの交通弱者のための移動手段として、コミュニティバスの運行を検討しています。本運行に向け、公共交通の実態把握や、利用者への聞き取りなどを行い、公共交通のあり方を検討する予定です。

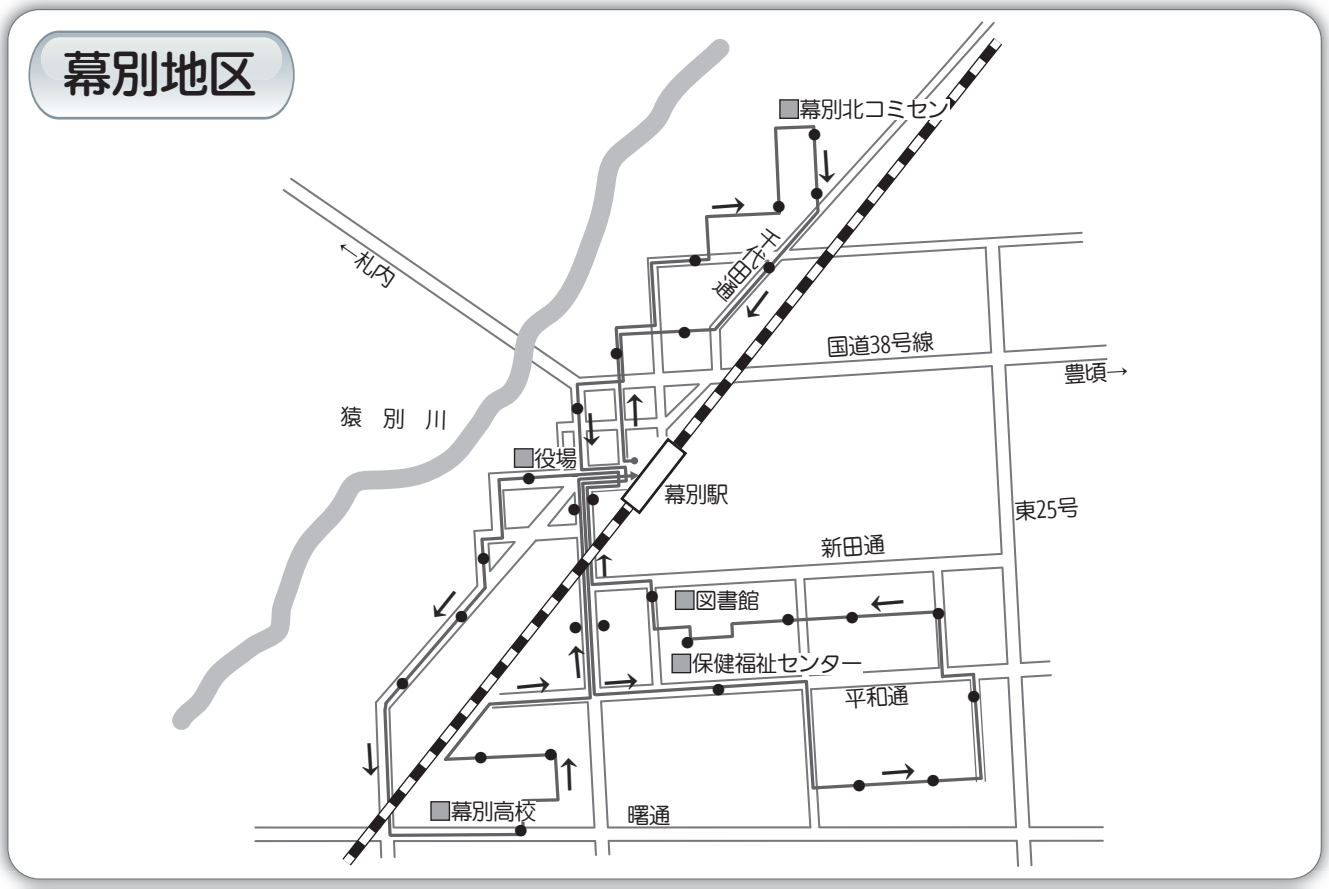
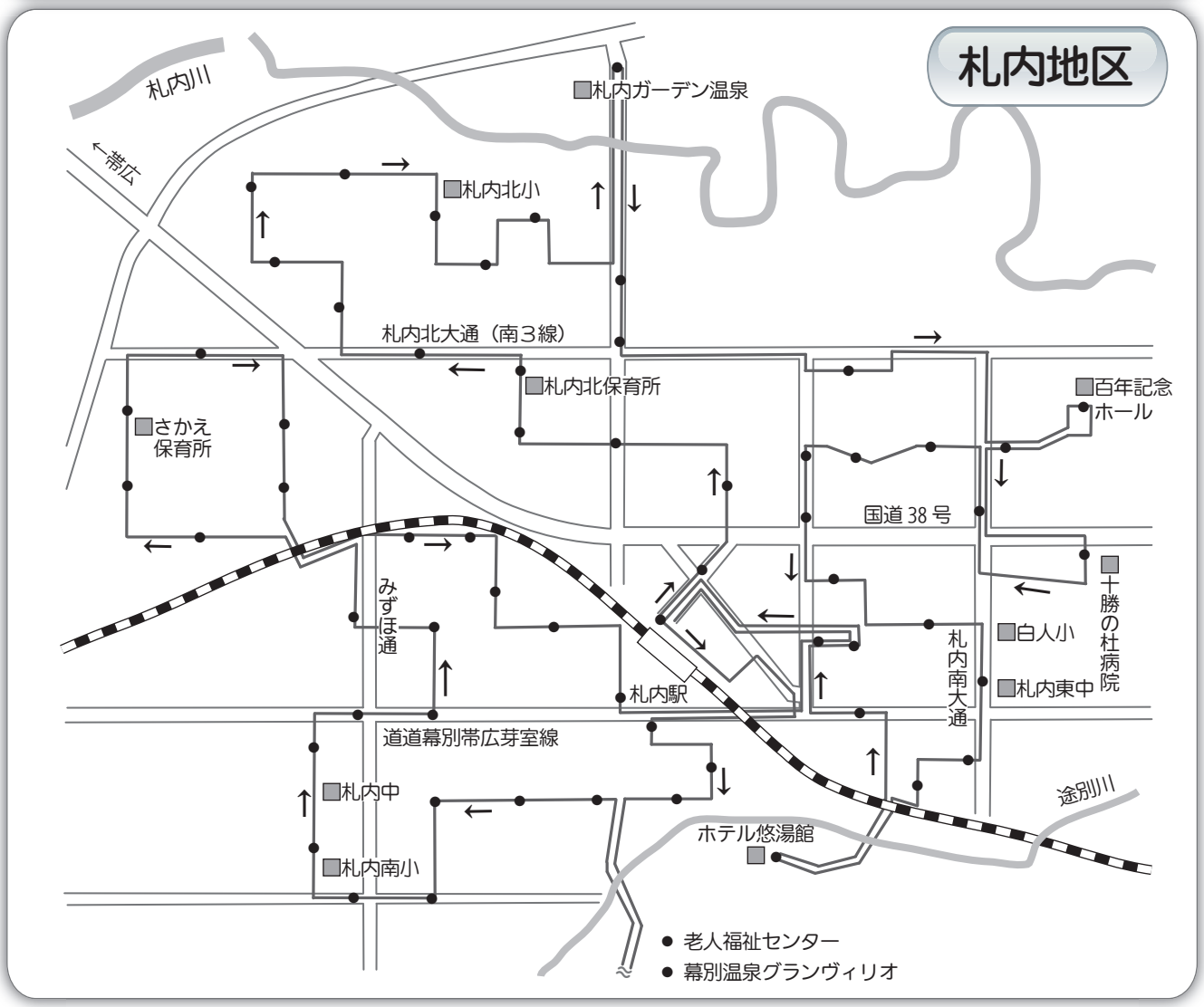
■問い合わせ先　企画室企画情報担当　TEL【幕】54-6610

同協議会・分科会

2月16日、住民ら利用者の代表で組織される、同協議会の分科会が開催され、音更町のコミバス試乗や試験運行時の乗車運賃について論議されました。原案としては、7月の運行は、周知を目的に全ての乗客が無料、11月の運行では、中学生以上は100円、小学生は50円、乳幼児は無料、小中学生が通学により利用する場合は、無料となりました。

幕別町コミュニティバス試験運行路線図（案）

幕別地区



札内地区